

様式第 2 号(第 7 条関係)

会 議 結 果 報 告 書

令和 7 年 2 月 21 日

会 議 の 名 称	令和 6 年度 第 4 回舞鶴市西市民プラザの運営方針に関する意見交換会(西市民プラザの未来を話し合う井戸端会議)	
種 別	☐ 附 属 機 関 ☒ 懇 話 会 等	
開 催 日 時	令和 7 年 2 月 3 日 (月) 18 時 30 分 ～ 20 時 30 分	
開 催 場 所	西市民プラザ 3 階集会室	
出 席 者	9 名	
議 題	・ テーマ 熟考と収束「西市民プラザの役割と事業を考えよう。」 ・ 内容 (1) 今までの振り返ろう (2) 西市民プラザの未来を話し合おう - ア 「場づくり」と「イベント・行事」を話し合おう - イ 西市民プラザの企画・運営への市民参加を考えよう - ウ 市民活動を促進する中間支援を考えよう - エ 市民活動を進めるために大切にしたいことを話し合おう - オ 成果を共有しよう (3) ふりかえり～今日の気づきの共有～	
公 開 の 区 分	☒ 公 開	
	☐ 部分公開	[理由]
傍 聴 者 数	6 名	
審 議 結 果 及 び 主 な 意 見 等	実施報告のとおり	
会議録の作成様式	☐ 詳 細 ☒ 要 約	
備 考		
担 当 課	舞鶴市市民環境部人権啓発・地域づくり室市民協働推進課 TEL (0773)66-1073	

第4回 舞鶴市西市民プラザの運営方針に関する意見交換会 実施報告
(西市民プラザの未来を話し合う井戸端会議)

- 1 開催日時 : 令和7年2月3日(月) 午後6時30分から午後8時45分まで
- 2 開催場所 : 西市民プラザ 集会室
- 3 参加者 : 12名(うち市職員3名)
- 4 傍聴者 : 6名
- 5 内 容
 - (1) テーマ : 熟考と収束「西市民プラザの役割と事業を考えよう。」
 - (2) 内 容 :
 - ・ 今までを振り返ろう
 - ・ 西市民プラザの未来を話し合おう(グループワーク)
 - ①「場づくり」と「イベント・行事」を話し合おう
 - ② 西市民プラザの企画・運営への市民参加を考えよう
 - ③ 市民活動を促進する中間支援を考えよう
 - ④ 市民活動を進めるために大切にしたいことを話し合おう
 - ⑤ 成果を共有しよう
 - ・ ふりかえり～今日の気づきの共有～
- 6 ファシリテーター : 谷口 知弘氏(福知山公立大学 地域経営学部 教授)

この会議は、多世代が集まって意見を交換するだけでなく、西市民プラザがどのような目的で建てられたのか、市民活動の場の意味や価値などを他地域の先進事例等を参考に学び、その学びから得た気づきを共有しながら西市民プラザの今後の運営方針について参加者同士で話し合うことを目的としています。

第4回では、まず、第1回で共有した西市民プラザができるまでの経緯や施設の設置目的・コンセプト、第2回で学んだ舞鶴市内の実践事例、前回で学んだ他地域の市民活動支援の先進事例を振り返りました。

次に、前回グループワークで考えたアイデアを深掘りし、西市民プラザの役割や事業についてグループごとにじっくり再度話し合い、そこから舞鶴の市民活動にとって大事なことは何かを議論しました。

最後に、各グループの代表者がそのグループで話し合ったことを他のグループのメンバ

ーに発表し、その発表で聞いて感じたことなどをそれぞれのグループのメンバーと共有しました。

次回は、今回提案のあった意見を集約し、再度議論し、運営方針の方向性をまとめます。

【会議の様子】



参加者の感想

- ・ 共通した目標や関心を持つ場が大事だと感じた。
- ・ 西市民プラザが舞鶴にとって必要な施設になるように参加者が自分の意見を出し合えたことが良かった。
- ・ 「舞鶴愛」がこの場の皆さんの共通ワードとなったことが、今後のつながりや広がり展開すると思った。
- ・ 地域愛が子どもから大人までの活動を大きく、多くさせることに気づいた。子どもの可能性を潰さないような地域を大人が作るということが大切で、それも愛で成り立っているのだと今回交流してわかった。
- ・ 専門職の職員がまちの情報収集と発信を行い、そのネットワークでまちをつなぐことが大切と思った。コーディネートの育成が必要だと感じた。
- ・ 今までの会議はインプットが多かったので、今回のアウトプットでこれからがよく見えてきた。中間支援団体が場をつくるなど意見があったが、本当にそんな団体はあるのかなど具体化が難しいと思った。
- ・ 来年度も新しいメンバーで同様のことを行い、想いをつないでほしい。
- ・ 市役所の他課の職員も同じ場で民間と想いを分け合ってもいいのではないかと思う。